

参加費  
無料OKAYAMA  
モノづくり×  
デザインセミナー

岡山県には優れた技術を有するモノづくり企業が数多くありますが、その技術力の高さや価値がなかなか伝わっていないという現状があります。また、激化する競争や下請からの脱却等が図れないといった課題もあります。このような中で、大きな役割を果たすのが「デザイン」と「自社製品」です。このセミナーでは、デザインを活かした魅力的で売れる商品づくりの秘訣などを様々な開発事例を交えながらお話いただきます。

なお、本セミナーでは、Session岡山商品開発実践プログラムの事前説明会も同時開催いたします。

2026年7月31日 **金** 13:30～17:00  
(受付開始 13:00)

※17:30より交流会 (事前申込制)

**場所**：サン・ビーチOKAYAMA  
(岡山市北区駅前町2丁目3-31)

**申込期限**：令和8年7月27日(月)

**対象**：企業の方、デザイナーの方など  
どなたでもご参加できます。

**定員**：60名程度

13:40

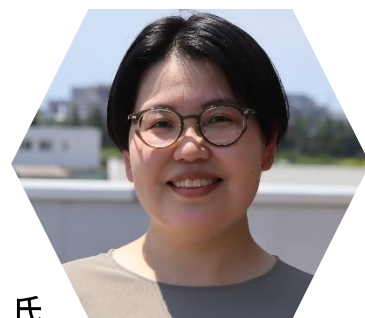


15:10

<講演1> **岡本硝子株式会社**

『BtoB企業が新たに挑むBtoC市場  
～社員発案で始まった自社商品「illumiuro(イルミーロ)」  
開発の挑戦ストーリー～』

岡本硝子株式会社 経営企画本部 事業推進部 部長 藤原 心 氏



15:20



16:50

**CEMENT**

<講演2> **PRODUCE DESIGN**

『小さな企業が生き残るための自社商品開発とデザイン経営』

有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷 勉 氏



## お問合せ・お申込み先

公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部研究開発支援課 (担当：中磯・安達)

TEL：086-286-9651 FAX：086-286-9676 E-mail：[sangaku@optic.or.jp](mailto:sangaku@optic.or.jp)

申込URL([https://www.optic.or.jp/event/event\\_detail/index/11081.html](https://www.optic.or.jp/event/event_detail/index/11081.html))

または右記の二次元コードより以下①②への参加有無についてご入力ください。

①セミナー (13:30～17:00/参加無料)

②交流会 (17:30～19:00/参加費5,500円(税込)/人)

※当日、受付で現金にてお支払いいただきます

主催：岡山県 (委託先：(公財)岡山県産業振興財団)



## 講演内容

### 演題：『BtoB企業が新たに挑むBtoC市場

～社員発案で始まった自社商品「illumiro(イルミーロ)」開発の挑戦ストーリー～

### 講師：岡本硝子株式会社

経営企画本部 事業推進部 部長 藤原 心 氏

#### <概要>

同社は1928年創業のBtoBガラスメーカーで、世界シェアNo.1の部品も製造する高い技術力が強みです。一方で、ニッチな業界ゆえの知名度の低さが課題でした。そこで藤原さんは、一般消費者に向けて自社技術の魅力を伝えるBtoCブランド「illumiro」を企画しました。決裁権限のない立場から、プロジェクトが一度白紙に戻るなどの困難を乗り越え、ガラス成型・加工技術と薄膜蒸着技術を生かした光と色のゆらぎを楽しむ商品の開発を実現しました。

「移り変わる色と光と影、揺らぎによってもたらされる『ゆらめく時間』のひとときを味わってください。」と藤原さん。現在は性別や年代を超えて支持を集め、国内外へ販路を広げています。本セミナーでは、藤原さんが進められた自社商品開発の秘訣や販路拡大の工夫についてもお話しいたします。

illumiro



**CEMENT**  
PRODUCE DESIGN

### 演題：『小さな企業が生き残るための自社商品開発とデザイン経営』

### 講師：有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷 勉 氏

#### <概要>

金谷氏は、岡山県主催の自社製品開発講座「Session岡山」をはじめ、全国1,000社以上のものづくり企業の商品開発を支援し、各社の強みを生かした新商品づくりを数多く手がけてきました。

本セミナーでは、そうした豊富な事例をもとに、自社商品開発の意義や可能性についてお話しいたします。自社商品を持つことは、会社の知名度向上やブランド価値の形成に加え、下請けからの脱却や経営基盤の強化にもつながります。さらに、新たな雇用の創出や社員のモチベーション向上など、自社商品やデザインを経営にどのように生かしていくかを考えるうえで、多くのヒントが得られる内容です。併せて、令和8年度「Session岡山」についてもご説明いたします。

